

「2018年度 全学共通科目に関する 教育改善点」報告

2018年度に新たに行った取り組みについてのみ記載

科目・項目	改善内容	改善の動機・理由等(該当するものに○を記入してください)					
		部会等提案	授業アンケート	自治会・学生 懇談会等要 望	担当教員要望	事務局提案	その他
基礎ゼミナール	基礎ゼミナールの「目標とする成績分布」のうち、「成績評価方法」について検討し、改善させた。	○				○	
	次年度の授業担当者を対象とした基礎ゼミナール懇談会において、事例発表の場を設けた。					○	
情報科目	情報リテラシー実践のコースウェアの見直しと改修を行った。	○		○	○		
	レディネス調査の構成と内容を見直し、試行版を一部クラスにて実施した。	○			○		
	情報倫理講習用のスライドの見直しと改修を行った。	○	○		○		
	情報リテラシー実践ⅡAにおいて、R言語を用いた統計処理を扱うクラスを設置した。			○	○		
	動画配信サービスによる授業用教材の開発を行った。	○	○		○		
	情報リテラシー倫理テストの新バージョンを作成し、一部チューターに試行した。	○			○		
未修言語科目	中国語、朝鮮語の履修者増加に伴い、学修環境の改善を図るため、クラス数を増やした。	○			○		
	語学教育の特性から、現在のクラス定員40名を縮小する方向で議論や調整を図っている。				○		
	人文社会学部において独語、仏語、中国語の海外短期語学研修が「異文化研修」として単位化されることになり、その一環として、履修者に向けてガイダンスを行うとともに、研修参加者全員に対して学習・文化両面について基本的な認識を共有するための、留学の準備となるオリエンテーションを実施した。						○
理系共通 基礎科目	教学IR推進室作成の成績分布データに基づき、開講学科において情報の共有と成績分布に問題がないか検討を行った。 また、理学部FD委員会で各学科からの意見を取りまとめ、基礎教育部会へのフィードバックを行った。	○	○				
	全学共通科目の授業アンケートの理系共通基礎科目に関する質問9を、これまでの経過や他の質問との兼ね合いを考慮して、授業難易度を問う質問に文言を変更した。	○	○				
保健体育科目	これまで別冊で発行されていた保健体育科目シラバスを、全学共通科目シラバスに組み入れた(別冊保健体育科目シラバスは廃止)。				○		
	これまで独自に行っていた体育実技(身体運動演習、スポーツ実習)の授業改善アンケートを、全学の授業改善アンケートに組み込み、実施した。				○		
	身体運動演習の測定プログラムを改訂した。				○		

科目・項目	改善内容	改善の動機・理由等(該当するものに○を記入してください)					
		部会等提案	授業アンケート	自治会・学生 懇談会等要 望	担当教員要望	事務局提案	その他
教室設備等	交通機関運休の場合等の授業の取扱いについて、運休の定義を明確にし、併せて運見合わせの場合の措置も明示した。					○	
	昨年度に引き続き夏季前に、主に大教室の天井に設置してある空調の吹出口(アネモスタット)の向きを直下に調整し、学生が冷気を体感できるようにした。					○	
	今年度夏季の気象状況を踏まえ、来夏に向け、サーキュレーターを追加配備できるように備えた。			○		○	
	今年度夏季は、気温上昇時期が早く、またその温度は非常に高温であった。そこで、省エネルギーに努めつつも学修・研究環境に配慮した空調運転を行うこととした。		○	○			○